

# 2 まちをきれいに



↑地域の清掃活動

いつも通る道路に紙くずや空き缶などが落ちていたら、みなさんはどう思いますか。

友だちと遊んでいる公園で、ごみや犬のふんがあれば、どんな気持ちになるでしょう。また、あなたの家のかべに落書きされたらどうしますか。

みんなの心がけひとつで、まちはきれいにすることができます。家や学校のまわりで、できることを考えてみましょう。



↑市民ボランティア活動（アダプトプログラム（hanaくずは商店会））

地域の会社や市民グループがボランティア活動で、枚方市の道路や公園をそうじしたり、花を植えたりしてきれいにしています。

市役所では、ほうきやちりとりを貸し出したり、集められたごみを回収しています。

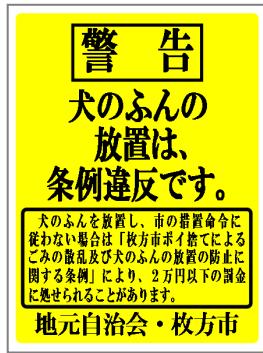


↑ひらかたクリーンリバー（天の川クリーン＆ウォーク）

市内を流れる船橋川、穂谷川、天野川の3つの河川の堤防では、毎年ごみ拾いの行事を行い、参加者に川を感じてもらって、「ごみを捨てない・捨てさせない」環境を広めています。小中学生や地域の自治会・企業の皆さん・ボランティアなど、多くの人が参加して川がきれいになるように清掃活動をします。



↑ ポイ捨てしないように呼びかける看板（長尾駅）



↑ まちの美化を呼びかける看板

上：ポイ捨て禁止

下：犬のふんの放置禁止

## (1) 枚方市の決まり

枚方市では、まちをきれいに保つために、市民一人ひとりが守る決まりがあります。

### ① ポイ捨てをしない

ジュースの空きかんやペットボトル、おかしのふくろ、紙くずなどは、道路や公園にポイ捨てしないで持って帰るか、きちんとごみ箱に捨てましょう。

### ② 犬のふんは持ち帰る

犬の散歩に行くときは、ティッシュペーパーやふくろを持っていきましょう。そして、犬のふんは持ってきたふくろにいれて、家に持ち帰り処分しましょう。



↑ 路面シールが設置された道路（枚方市役所前）

### ③ 落書きしない

たてもの 建物やかべ、電柱などに落書きをしてはいけません。  
はんざい 落書きはみんなのものをよごす犯罪です。

### ④ 歩きたばこはダメ

日本では、たばこのけおりをまわりの人が吸わないよう  
にするために、屋内禁煙がすすんでいます。

さらに、枚方市では、火のついたたばこを持ち歩くと危  
ないことと美しいまちを守るため、道路などでは歩きなが  
らたばこを吸ってはいけないという決まりがあります。人  
が集まる場所ではまわりの人の迷わくなるので、人が混  
み合う枚方市駅と樟葉駅のまわりではたばこを吸っては  
いけない区域も定めています。

やめよう 歩きたばこ！  
~環境マナーを向上し、きれいなまち作りに努めましょう~

「枚方市路上喫煙の制限に関する条例」  
により、枚方市内の全ての道路、公園、広場、河川等の  
公共の場所で、歩きたばこは禁止されています。  
喫煙：周囲の人達に迷惑にならないよう、立ち止まって  
お吸い下さい。  
また、たばこの灰や烟灰は「灰皿」や「携帯灰皿」  
を利用して、道脇や公園にポイ捨てしないようにしてください。

枚方市は、ポイ捨てをする方の罰金を  
増額のまちです。みだりにたばこを  
ポイ捨てすると、1万円以下の  
罰金に処せられることがあります。

地元自治会、枚方市  
ひこうく  
（まちなかのまちづくり）

↑ まちの美化に関する看板  
「やめよう！歩きたばこ」



↑ まちの美化を呼びかける路面シール

## さんこう

### じょうれい 条例

大阪府や枚方市で作る  
みんなに守ってもらう決まりを『条例』といいます。

①～③は「枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置に関する条例」で、④は「枚方市路上喫煙の制限に関する条例」で決まっていま  
す。



### ちいき せいそう さんか 地域の清掃活動に参加しよう



クリーンリバーのほか、自治会や地域のボランティアグループの皆さん  
が公園や道路の清掃に取り組んでいます。

こうほう かいらんばん せいそうかつどう  
広報ひらかたや回覧板を確認して、地域の清掃活動に参加してみよう。



↑ 大阪湾に漂着した海ごみ（提供：大阪府）

## かいよう (2) 海洋プラスチックごみ

みなさんは、海洋プラスチックごみという言葉を聞いたことがありますか。

海洋ごみとは、きちんとごみ箱に捨てられずに、みちや公園などに捨てられたごみが、雨や風によって川へ入り、海へと流れ込んだものを言います。

このうちプラスチックは、自然に分解されずに、川の流れや海の波、太陽の光などによってとても小さくなります。このとても小さくなったプラスチックのことを、マイクロプラスチックといいます。

このマイクロプラスチックをえさと間違って小さな魚が食べて、その魚を大きな魚などの他の生き物が食べ、またそれら大きな魚などをわたしたち人間が食べていることになります。



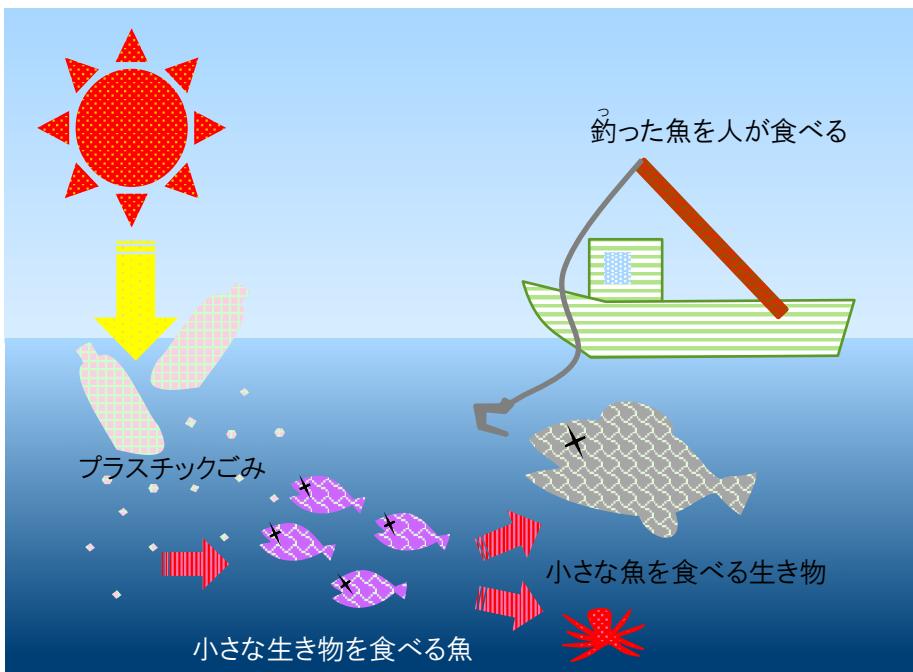
↑ あみがからまつたオットセイ  
(提供：海上保安庁)

### — さんこう —

#### マイクロプラスチック

自然環境中にある5ミリ以下の大きさのことを。  
下の大変小さなプラスチックのこと。

なお、マイクロとは、1ミリの1000分の1の大きさのこと。



↑マイクロプラスチックが動物の体に入るまで

また、マイクロプラスチックに有害な物質がくっついたりすることで、人や生き物の健康に影響があるかもしれません。

私たちのくらす枚方市は、海に面していませんが、たくさんの川が流れています。その川は淀川につながり、やがて大阪湾へと流れていきます。

海洋プラスチックごみの問題を少しでもよくするため、枚方市では、『ひらかたプラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言』をしています。

そして、枚方市にくらす人、はたらく人、おとずれる人みんなに、レジ袋などのプラスチック製品ができるだけ使わないことや、ポイ捨てをしないできちんとごみ箱に捨てること、川やまちの清掃活動に参加することなどを呼びかけています。

このように、海の生き物を守るためにわたしたちにもできることがたくさんあるのです。

**ひらかた  
プラごみダイエット  
～ポイ捨てゼロ宣言**

枚方市では、「環境を守るやま枚方」を実現するため、市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力して、環境保全活動に取り組んでいます。近年、私たちの生活に広く普及し、欠かせないものになっているプラスチック製品が不用意にポイ捨てされるなど適正に処理されず、河川などを通じて海へ流れ込み、長年にわたって環境中にどまり続けることで、海岸汚染を引き起こし、生態系や人の健康が懸念されています。海岸プラスチック問題は、決して枚方市においても無関係な問題ではなく、その解決・改善のためにポイ捨てをしない・させない環境づくりや使い捨てプラスチックの使用を削減することが不可欠です。こうしたことから、枚方市では、市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力し、プラスチックごみ等ポイ捨て防止の啓発活動や使い捨てプラスチックの削減に向けた4R(リユース・リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みを推進して、プラごみダイエット～ポイ捨てゼロを宣言します。

枚方市では、プラスチックごみ削減のため、まずは次の事項に取り組みます。

- アダフト団体等と連携したポイ捨て防止の啓発とクリーンリバーアクション
- 市内の商店等と連携したレジ袋の削減

Plastics Smart  
令和元年6月1日  
枚方市長 伏見 隆

↑ひらかたプラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言

## — さんこう —

### レジ袋有料化

プラスチック製品を使いすぎている今の生活を見直すきっかけづくりとして、令和2年7月1日より全国でレジ袋有料化がスタートしました。

自然にぶんかいするもの、地球に優しい素材以外のレジ袋は有料になります。

## — 考えよう —

世界で1年間に使われるビニール袋は5兆枚。

世界で1分間に売れるプラスチックボトルは100万本。

世界で1年間に売れた飲料水用のボトルは4800億本。

少しづつ減らせるようにみんなで考えてみよう。

出典：国連広報センター